

江戸東京博物館史料叢書 7

四谷塩町一丁目 幕末御触留

東京都江戸東京博物館
都市歴史研究室編

目次

1	元治元年（一八六四）九月「御触留」……………	1頁
	―元治元年（一八六四）九月二十四日―慶応二年（一八六六）九月十八日―	
2	慶応二年（一八六六）九月「御触帳」……………	99頁
	―慶応二年（一八六六）九月十九日―慶応四年（一八六八）正月十六日―	
3	慶応四年（一八六八）正月「御触帳」……………	178頁
	―慶応四年（一八六八）正月十二日―慶応四年（一八六八）七月二十五日―	
解説	石山秀和 高山慶子 近松鴻二……………	268頁
件名一覧	……………	301頁

凡 例

一、本書は、東京都江戸東京博物館所蔵石井良助氏収集古文書のうち、四谷塩町一丁目（現新宿区本塩町）の元治元年（一八六四）九月の「御触留」（資料番号九〇三七三三三五）、慶応二年（一八六六）九月の「御触帳」（同九〇三七三三三八）、慶応四年（一八六八）正月の「御触帳」（同九〇三七三三三九）を翻刻したものである。

一、翻刻にあたり、原本の様式を残すようにつとめたが、編集の都合により、原本の体裁を損なわない程度に、つぎのようにした。

1 文中に適宜、読点（、）および並列点（・）を加えた。

2 漢字は当用漢字・常用漢字にあるものは、原則としてこれを用い、ないものは正字を用いた。

3 宛字・誤字・衍字はそのまま表記して、右傍に（マ）を付した。正しい文字がわかる場合は、右傍に（カ）と記した。

4 変体仮名は、同音の平仮名にあらためた。ただし、方向を示す「〇〇江」の「江」は「へ」、候得共の「得」は「へ」に改めた。また、「ヶ所」「ヶ月」のヶは残した。

5 合字は平仮名に改めた。ただし、メは残した。

6 欠損、または判読不明の文字は、□□：（字数分）、「」（字数不明）で示し、蝕損などは右傍に（虫損）（破損）と記した。

7 踊り字は、漢字は々、平仮名は、片仮名は、を用いた。大返しは、「く」（字数分）を用いた。

8 原文中の行間の補記は、原則として本文中に繰り入れた。

9 意味不明箇所については、右傍等に（マ）を付した。

10 印形は、形により印・印とした。

11 朱書は該当箇所の前後に＊を付した。

12 後筆については判断困難なものがあるため、特に注記を行わず、原文通りの位置に示した。

13 （ ） のないルビは、原文の振り仮名である。

一、巻末には本書の解説と件名一覧を付した。

一、編集には、林玲子（当館都市歴史研究室元教授・一九九九年三月まで在籍）・近松鴻二（同歴史研究科長）・石山秀和（同専門研究員）・高山慶子（同専門研究員）があたり、林貞栄（同嘱託）・磯部孝明・板倉千恵・伊比裕子・大場奈央・亀鶴倫代・佐藤倫子・高橋真愛・藤井奈緒・森本いづみ・渡辺敦子の協力を得た。

一、本文の一部に階層・職業等、今日の人権意識に鑑み、差別を表わすような表現がある。もとよりこのような差別は許されるものではないが、本史料が成立した背景や記載内容等を鑑み、原文のままとした。

一、なお、当館では、石井良助氏収集古文書のうち、本「御触留」「御触帳」を含む四谷塩町一丁目関係文書を、マイクロフィルムによる閲覧を実施しているので併せて利用いただきたい。

件名一覧

1 元治元年「御触帳」

番号	件名	年月日	点	頁
1	元治改元の書付	元治元・3・朔	1	1
2	慶応改元の書付	慶応元・4・18	1	1
3	日光東照宮二百五十回忌法事の名代井伊掃部頭勤役の書付	慶応元・4・17	1	1
4	長州へ進発につき江戸道筋の品川東海寺までの書付	慶応元・5・16	1	1
5	四文銭・一文銭の改鋳の通知	慶応元・閏7・14	1	1
6	宮芝居・村右衛門の役者共差し留め、猿若町入を命ず	慶応2・4・18	1	1
7	薩摩人形座・結城座の興行地の書付	慶応2・4・18	1	1
8	将軍家茂薨去につき鳴物停止・一橋慶喜将軍就任の通知	慶応2・8・26	1	1
9	上洛祝儀の下賜金につき呼出の名主・月行事姓名の提出を命ず	元治元・9・27	1	2
10	人造硝石製造の魚腸貯置の義につき市中取調を命ず	元治元・9・24	1	2
11	市中にて濁酒手造・醸造渡世の禁止を命ず	元治元・9・26	1	2
12	9月20日に紛失の具足の取調を命ず	元治元・10・4	1	3
13	9月17日以来、紛失の刀の取調を命ず	元治元・10・7	1	3
14	上洛祝儀の下賜銭の義につき月行事・名主の出頭を命ず	元治元・10・9	1	4
15	下谷御数寄屋町周助店勘次郎娘ふき、孝心寄特につき褒賞	元治元・10・朔	1	4
16	明14日増上寺へ御成につき町中火の用心を命ず	元治元・10・13	1	5
17	上洛済み祝儀として下賜銭の総額および拝領の請書・雛形	元治元・10・11	1	5
18	上洛済み祝儀として下賜銭の引取場所の通知	元治元・10・12	1	7
19	9月27日以来、紛失の鉄砲の吟味を命ず	元治元・11・朔	1	7
20	火の用心・水溜桶に水入れを命ず	元治元・10・27	1	8
21	市中へ潜伏・紛入候者の義につき北三御廻りよりの通知	元治元・10・29	1	8

22	町方の武家剣術および道場の取り計らいにつき文化年間、天保年間・安永年間の通知	元治元・10・一	1	8
23	10月28日以来、紛失の刀につき北番所の取調書	元治元・11・6	1	9
24	松平石見守不快にて播磨守に月番を命ず	元治元・11・18	1	9
25	松平石見守本家相続につき町奉行御免の通知	元治元・11・20	1	9
26	有馬出雲守町奉行就任の通知	元治元・11・22	1	10
27	屋敷内を町人等へ貸置ことの禁止を命ず	元治元・11・23	1	10
28	浮浪の徒探り方と相州鎌倉にて英国人殺害の侍探索を命ず・侍の人相書	元治元・11・3	1	10
29	武家家来のうち町宅で不審なる者の取調を命ず	元治元・11・5	1	11
30	11月6日以来、紛失の刀の取調を命ず	元治元・11・25	1	12
31	11月9日以来、紛失の鉄砲の入念吟味を命ず	元治元・11・22	1	12
32	11月10日以来、紛失の刀・脇差の入念吟味を命ず	元治元・11・22	1	12
33	市中湯屋の料金一人につき十六文に引き上げのところ元値段に引き下げにて組合限り心付を命ず	元治元・11・23	1	14
34	来月朔日より三日まで増上寺において法事につき火の用心を命ず	元治元・11・28	1	14
35	有馬出雲守公事訴訟の聴聞につき松平石見守掛かりの者共立ち会いを命ず	元治元・12・4	1	14
36	去月22日、紛失の小袖の取調を命ず	元治元・12・5	1	14
37	二の丸の急普請につき市中木挽職人一橋門外普請小屋へ出勤を命ず	元治元・12・10	1	14
38	去月晦日、紛失の脇差・小袖・袷など入念取調を命ず	元治元・12・10	1	15
39	去月29日、紛失の脇差入念取調を命ず	元治元・12・12	1	16
40	有馬出雲守役替にて根岸肥前守町奉行任命の通知	元治元・12・21	1	17
41	去19日以来、紛失の短刀吟味を命ず	元治元・12・晦日	1	17
42	来正月播磨守の月番継続の通知	元治2・正・3	1	17
43	去22日、紛失の脇差入念取調を命ず	元治元・12・28	1	17
44	外桜田・馬場先・和田倉門の通行にて出入切手の差し出しを命ず	元治2・正・6	1	18
45	浮浪の者潜伏の義につき召し捕りを命ず	元治2・正・5	1	19
46	明晦日上野へ御成にて火の用心を命ず	元治2・正・29	1	19
47	御関所女通行の義は前々の通り女手形にて通行を命ず	元治2・正・29	1	19

48	播磨守不快につき肥前守引き続き月番勤役の通知	元治2・正・晦	1	20
49	当4月日光山法事にて徒・若党・小者・中間など召し抱えを命ず	元治2・正・晦	1	20
50	寿千代殿逝去につき鳴物停止令	元治2・2・5	1	20
51	毛利大膳より御取揚の紙・蠟燭売り払い金の割符にて南伝馬町三丁目水茶屋若松へ出勤を命ず	元治2・2・7	1	20
52	下総国香取郡川頭村百姓喜兵衛人相書	元治2・2・11	1	21
53	麻布日ヶ窪毛利左京屋敷家財欠所入札にて其筋家業の者出頭を命ず	元治2・2・14	1	21
54	来25日より27日まで増上寺法事のため火の用心を命ず	元治2・2・20	1	21
55	13日紛失の太刀・脇差・小袖・風呂敷の入念取調を命ず	元治2・2・26	1	21
56	玉川上水樋筋御普請所古鉄物・銅類払下にて入札の通達	元治2・3・12	1	23
57	地代・店賃ならびに奉公人給金の引き上げ禁止を命ず	元治2・3・12	1	23
58	来4月より9日を定日として、紛失物にて返答書持参の申合の通達	元治2・3・15	1	23
59	明25日駒場野へ御成にて火の元入念を命ず	元治2・3・27	1	23
60	諸色値段引き下げの義、元方荷主共新大橋諸色直段調所にて取調を命ず	元治2・3・28	1	23
61	物価引き下げのため、諸品出産の国々元方直段取調の通達	元治2・3・29	1	24
62	4月4日以来紛失の刀の取調の通達日・返答日の書上	元治2・4・15	1	24
63	3月11日以来紛失の刀の取調の通達日・返答日の書上	元治2・4・15	1	25
64	日光御法会の後、西之丸にて御能拝見のため可罷出人数の通達	元治2・4・13	1	25
65	来る21日駒場野へ御成の節商売差留・火の元厳重を命ず	元治2・4・18	1	26
66	慶応改元の通達	元治2・4・18	1	26
67	来25日公家衆到着にて道筋掃除・火の用心を命ず	慶応元・4・23	1	26
68	明3日駒場野へ御成の道筋と火の用心・掃除の通達	慶応元・5・2	1	26
69	5月16日御進発のため宿駅混雑、人馬継立差支にて東海道・美濃路の通行見合わせを命ず	慶応元・5・3	1	26
70	御進発の御用金の義、御府内町人の名前帳面にて差し出しの通達	慶応元・5・3	1	27

71	御進発にて町々火の元嚴重、木戸のメ切り、香具師渡世・見世物の類の休日を命ず	慶応元・5・14	1	27
72	5月16日御進発刻限は5つ時の通達	慶応元・5・15	1	28
73	御用金の義、来寅より拾ヶ年に割、御下け戻しの通達	慶応元・5・14	1	28
74	御進発御留守中御道筋の外町々の火焚き刻限の通達	慶応元・5・15	1	28
75	御進発留守中の旅人宿・百姓宿止宿者の身元札を命ず	慶応元・5・14	1	29
76	御進発留守中、御府内入津の諸廻船への乗組便船の手引き、船積宿などへの止宿などを禁ず	慶応元・5・14	1	30
77	御進発留守中、猿若芝居両国広小路其外香具見世物渡世など火の元取締を命ず	慶応元・5・14	1	30
78	町々河岸にて船たで候義并致船拵焚火の義、火の元入念を命ず	慶応元・5・14	1	31
79	御進発5月16日江戸道筋の通達	慶応元・5・14	1	31
80	元文銀・文政銀・保字銀・古式朱銀・文政式朱銀引替のため差出を命ず	慶応元・5・15	1	31
81	4月10日以来紛失の拵付太刀・合口短刀・裕・風呂敷など取調を命ず	慶応元・閏5・2	1	32
82	御進発留守中、寄渡世の者夕7つ時限可相仕舞旨を命ず	慶応元・5・22	1	33
83	本郷2丁目抱人足権太郎ほか4名、抜刀の侍理不尽に切り懸けるを捕押えにつき褒美の通達	慶応元・5・22	1	33
84	湯島横町嘉助・源四郎の施金にて褒美銀の通達	慶応元・5・29	1	33
85	錢諸国共払底差支にて世上融通を命ず	慶応元・閏5・一	1	34
86	小石川大塚上町留八他6名、中間鉢の抜刀人押捕にて奇特にて褒美の通達	慶応元・閏5・2	1	34
87	隠密廻り・定廻り・臨時廻り3名の任命の通達	慶応元・閏5・3	1	35
88	赤坂・芝辺の市中町々の子供遊び追々増長にて停止を命ず	慶応元・閏5・13	1	35
89	真鍮錢・文久錢・銅小錢の歩増にて天然相場の通用を命ず	慶応元・閏5・14	1	35
90	去々月9日紛失の刀・脇差の入念取調を命ず	慶応元・閏5・15	1	36
91	米価高直にて米穀問屋・仲買に限らず素人直売買・他国取引手広にし、囲米の禁止を命ず	慶応元・閏5・22	1	37
92	東海道矢作川船渡賃錢、3ヶ年5割増の通達	慶応元・閏5・22	1	37

93	前裁物高直にて近在作元・見世売八百屋・棒手振など 下直に売買を命ず	慶応元・閏5・28	1	37
94	大小銭の両替少々宛にて取引の旨を命ず	慶応元・閏5・26	1	38
95	野菜物引受の青物渡世の者を組々にて取調を命ず	慶応元・閏5・27	1	38
96	諸色高直にて市中其日稼厄介多の者の取調を命ず	慶応元・閏5・28	1	38
97	米価并諸色高直につき有徳の町人による施行の取調の 通達	慶応元・6・2	1	38
98	御春屋直人足増金にて金72両取り集めを命ず	慶応元・閏5・27	1	38
99	市中困窮者へ町会所において干飯100文につき5合替 の相場をもって御払の通達	慶応元・6・8	1	39
100	牛頭天王稲荷仮屋神事にて火の元大切にいたす旨を命 ず	慶応元・6・12	1	39
101	町火消人足御呼出しの節、刻限無遅滞を命ず	慶応元・6・5	1	40
102	防長賊徒共の内、本国脱走の潜伏者の改めを命ず	慶応元・6・12	1	40
103	御進発の御国恩冥加として上げ切上納金・納帳の差出 を命ず・上納金調帳雛形	慶応元・6・13	1	40
104	干飯700石、市中極貧窮者へ明15日より切手にて御払の 通達・干飯御割日限・切手雛形	慶応元・6・13	1	41
105	6月11日以来紛失の釵付ケヘエル筒入念取調を命ず	慶応元・6・21	1	42
106	其日稼窮民へ御救米のため人別取調を命ず、取調目当 の箇条書き・人別書上雛形	慶応元・6・一	1	42
107	町会所より御払いの干飯につき善悪風聞の聞き込みを 命ず	慶応元・6・19	1	44
108	神田柳原請負地と町会所附神田請負地の町用向の義 は、仁左衛門と定次郎・喜左衛門へ申し越しを命ず	慶応元・6・19	1	44
109	御国役御伝馬御用相嵩勤続相成兼、お救いの助金とし て1ヶ年1650両町々にて上納を命ず・町屋敷割合帳	慶応元・6・21	1	44
110	米価格別高直にて小菅御殿御囲内にて払米入札の通達	慶応元・6・27	1	45
111	米価高直に付窮民へ御救米のため其日稼の人別取調を 命ず	慶応元・6・一	1	46
112	其日稼の目当に関する伺書・返答書	慶応元・6・28	1	46
113	関東8ヶ国の絞り油屋、市中相場相当の直段をもって 売買を命ず	慶応元・7・朔	1	46
114	人別調方雛形の通、組合限り取計を命ず・雛形	慶応元・7・4	1	47
115	明18日より20日まで増上寺法事につき書上	慶応元・7・17	1	48

116	米価高直につき浅草御蔵において摺立米御払の通達	慶応元・7・16	1	48
117	去る14日紛失の太刀・短刀取調の通達日・返答日の書上	慶応元・7・—	1	48
118	去る7日紛失の太刀・脇差・単物・羽織・帷子取調の通達日・返答日の書上	慶応元・7・—	1	49
119	去る8日紛失の刀・短刀入念取調を命ず	慶応元・7・23	1	50
120	去る16日紛失の刀取調の通達日・返答日の書上	慶応元・7	1	50
121	深川六間堀町佐平次ほか8名諸色高直につき施金差出にて褒美銀の下賜、この旨を自身番屋へ張出を命ず	慶応元・7・3	1	51
122	南品川海蔵寺門前与吉継父・実母へ孝心につき褒美金の旨自身番屋へ張出を命ず	慶応元・7・24	1	51
123	勸行院逝去につき廿日まで鳴物停止を命ず	慶応元・8・14	1	52
124	勸行院出棺の通達	慶応元・8・18	1	52
125	8月朔日以来紛失の刀・短刀、8月9日以来紛失の刀の取調を命ず	慶応元・8・13	1	53
126	京都大坂の街道筋の八幡・山崎へ壘壁・関所・船改役所取建にて荷物改めの通達	慶応元・8・24	1	54
127	7月14日以来紛失の脇差・7月19日以来紛失の脇差・羽織の入念取調を命ず	慶応元・8・24	1	54
128	米直段追々高直による素人直買のため、春米屋渡世難渋の者の申出を命ず	慶応元・9・20	1	55
129	米価高直にて米穀問屋・仲買に限らず素人直売買・他国取引手広にし、囲米の禁止を命ず	慶応元・閏5・22	1	55
130	神事・開帳など町方支配限りにて違変の風聞承度置旨の通達	慶応元・9・22	1	55
131	米穀融通の為素人にてても勝手次第売買を命ず	慶応元・9・24	1	56
132	8月以来紛失の革羽織・股引・木綿単看板・木綿法皮・雲斎単割羽織、8月以来紛失の帷子の入念取調を命ず	慶応元・10・朔日	1	56
133	火の元の義、御進発御留守中にて嚴重に心付を命ず	慶応元・10・11	1	57
134	紛失の具足・番具足・陣羽織など入念取調を命ず	慶応元・10・15	1	57
135	去る朔日紛失の火事羽織・筒袖割羽織・大隊教練書・教練書など、去月22日紛失の陣股引の取調触出日・返答日の書上	慶応元・10・12	1	58
136	風烈の節町中火の用心を命ず	慶応元・10・27	1	58
137	来寅年暦板の義、暦問屋11人の者にて板行を命ず	慶応元・11・朔日	1	58

138	根岸肥前守御役御免・山口駿河守町奉行を命ず	慶応元・11・2	1	59
139	町方支配町人拝領屋敷・預り地・抱屋敷・抱地などの 名前・間数・坪数を半紙縦帳にて認め差出を命ず	慶応元・11・朔日	1	59
140	鍛冶屋ふいご祭の節、磔を打、あはれ候者召捕を命ず	慶応元・11・5	1	59
141	三井金十郎・桜井鍋次郎ほか3名臨時廻り助に任命の 通達	慶応元・10・24	1	59
142	中村佐七・岩井勝之助ほか3名臨時廻り当分助に任命 の通達	慶応元・10・26	1	59
143	北人足改下役内藤銀蔵退役にて御届ものは河原清太郎 へ差出を命ず	慶応元・10・28	1	60
144	人足改下役秋山勝十郎・同増下役葛岡彦太郎、北御番 所にて任命の通達	慶応元・11・29	1	60
145	四谷伝馬町3丁目地所の町会所積金の貸付金350両の 低流地にて望人取調を命ず	慶応元・11・17	1	60
146	去月25日紛失の大小壱腰・脇差など他39品の通達日・ 返答日の書上	慶応元・11・一	1	60
147	駿河守来月初月番御勤の通達	慶応元・11・晦日	1	63
148	夜分盗賊押込の者取押の通達	慶応元・12・3	1	63
149	押込盗賊の節、相互に拍子木・太鼓などを鳴らしての 捕押と出張の場所を命ず	慶応元・12・12	1	63
150	押込・追落などの手荒の所業の者補物方・見回りの心 得の通達	慶応元・12・一	1	63
151	夜中見廻り水茶屋休足所用意の旨を命ず	慶応元・12・17	1	64
152	名主役跡目の義の通達	慶応元・12・14	1	65
153	歩増の真鍮銭・銅小銭通用方の旨を命ず	慶応元・12・16	1	65
154	12月19日以来紛失の銭箱の取調日・返答日の通達	慶応元・12・29	1	66
155	12月29日以来紛失の刀の取調日・返答日の通達	慶応2・正・7	1	66
156	押込・追落・盗賊の義にて自身番屋取締りの旨を命ず	慶応2・正・12	1	66
157	去 _丑 11月25日以来紛失の銀無垢浪の彫縁頭ほか4品の 取調日の通達	慶応2・正・一	1	67
158	正月21日以来紛失の刀・小袖・羽織ほか2品の入念取 調を命ず	慶応2・2・5	1	67
159	表店の月々の店番銭・一昼夜店番人数の取調を命ず	慶応2・正・5	1	68
160	仏国博覧会へ出品する国産品、有志の町人より取り集 めを命ず	慶応元・12・27	1	68

161	奉公人請・奉公人抱入の義につき通達	慶応2・2・29	1	69
162	3月19日より24日まで東叡山御法事にて嚴重見廻りを命ず	慶応2・3・19	1	70
163	浮世絵・絹地巻物画状の類の今晚中取調を命ず	慶応2・3・24	1	70
164	去月8日紛失の刀・小縁・鰐などほか9品入念取調べを命ず	慶応2・4・2	1	70
165	天保度吹立の2朱金通用停止にて引替を命ず	慶応2・4・6	1	71
166	御用筋御呼出の遅刻・不参を禁ず、請書とも	慶応2・4・4	1	71
167	4月6日以来紛失の振袖入念取調を命ず	慶応2・4・16	1	72
168	吉蔵ほか両国広小路にて歌舞伎狂言・見世物など致候74名の渡世替を命ず	慶応2・4・18	1	72
169	隠売女・女芸者の客との密通、歌舞伎役者・芸者を描いた錦絵出版を禁ず、請書とも	慶応2・4・18	1	73
170	真鍮銭・銅小銭の世上一般に取引・通用を命ず	慶応元・12・16	1	74
171	四谷御門御堀内草取・掃除浚にて堀場通へ揚土・諸色など差置の通達	慶応2・5・17	1	74
172	5月10日以来紛失の刀・脇差の入念取調を命ず	慶応2・5・25	1	75
173	海外諸国へ学科修業・商業のために罷越の者への通達	慶応2・4・8	1	75
174	駒込片町金兵衛ほか11名施金にて褒賞の通達	慶応2・5・16	1	76
175	品川宿辺人家打毀しにて組合よりの届出を命ず	慶応2・5・27	1	76
176	御進発留守中にて町々取締り嚴重を命ず	慶応2・6・朔	1	76
177	市中の異変見聞次第御番所などへ届出の旨の請書	慶応2・6・2	1	77
178	米価・諸色高直にて其日稼難渋の者共へ白米・金銭差出者の申出を命ず	慶応2・6・3	1	77
179	徒党乱妨の者捕押方および自身番屋勤方を命ず	慶応2・6・3	1	77
180	素人にて困窮の者へ白米・玄米入札の上御払いの通達	慶応2・5・26	1	77
181	窮民男女への御救銭の下賜、および人別取調にて昨年分を目当とする旨の通達、請取書の雛形	慶応2・6・4	1	78
182	町屋・見世打毀を見物罷出候者の召捕を命ず	慶応2・6・5	1	78
183	去月28日紛失の刀・脇差取調を命ず	慶応2・6・14	1	79
184	徒党及乱妨候者の召捕・御進発留守中の通り相心得見廻りを命ず	慶応2・6・15	1	79

185	長防征伐のため芸州の軍勢へ米穀・諸色共積み送り・ 売り渡しを命ず	慶応2・6・22	1	80
186	池田播磨守御役御免、井上信濃守町奉行就任の通達	慶応2・6・29	1	80
187	歩兵千人ほど抱入にて望みの者取調の通達・取調書上 帳雛形	慶応2・7・5	1	80
188	硝石自製場御払にて明後19日入札の通達	慶応2・7・16	1	81
189	長防所々にて戦争のため御府内においても取締向嚴重 を命ず	慶応2・7・16	1	81
190	四谷御屯所入用小間割りにて立替、明後21日差出を命 ず	慶応2・7・19	1	81
191	長防征伐にて市中取締向きの諸雑費を省き警衛を命ず	慶応2・7・18	1	82
192	歩兵雇入にて来21日西丸下歩兵屯所へ罷出、給金の旨 の請書	慶応2・7・18	1	82
193	歩兵抱入の請人多人数にて人宿年行事共より差出を命 ず	慶応2・7・23	1	83
194	自身番屋絵図面および相詰候家主・人足・番人等組合 限り合冊にて差出を命ず	慶応2・7・23	1	83
195	町火消人足共の内700人雇入にて芸州へ差遣可否の旨 の通達	慶応2・7・23	1	83
196	定例窮民救願の義、町役人共も忘失にて取調を命ず・ 不煩の店主御救の例書・窮民被仰渡書・窮民につき伺 書・伺書に対する通達	慶応2・7・一	5	83
197	慶応2年7月分別手組屯所諸入用を小間割にて取集を 命ず	慶応2・8・朔	1	86
198	山口駿河守不快にて信濃守月番の通達	慶応2・7・29	1	87
199	公事訴訟等登城前に承りにて朝五つ半前に罷出を命ず	慶応2・8・2	1	87
200	山口駿河守役替にて有馬阿波守町奉行の通達	慶応2・8・5	1	87
201	水戸殿・松平肥後守四文銭吹立にて当地限り通用を命 ず	慶応2・8・4	1	87
202	8月12日より14日まで増上寺法事の通達	慶応2・8・7	1	87
203	明後16日より山口駿河守掛り分の公事訴訟は南御番所 へ罷出を命ず	慶応2・8・14	1	88
204	御春屋直役人足増賃銭、当7月分より差出不及の旨を 命ず	慶応2・8・21	1	88
205	町会所囲穀市中春米屋へ下け渡し、鑑札引替にて売り 払いを命ず	慶応2・8・24	1	88

206	公方様薨去にて鳴物停止を命ず	慶応2・8・26	1	89
207	一橋中納言相続にて上様と奉称の旨を命ず	慶応2・8・26	1	89
208	公方様薨御にて町中火の元入念を命ず	慶応2・8・26	1	89
209	町中鳴物・悪事・喧嘩口論・火の不始末などを禁ず	慶応2・8・26	1	89
210	町中夜中木戸メ切、手桶水の用意を命ず	慶応2・8・26	1	90
211	町会所囲穀市中春米屋へ下け渡しにて困窮民人別取調方の心得について伺書	慶応2・8・一	1	90
212	窮民御救米売払にて町役人申合の伺書	慶応2・8・26	1	90
213	窮民人別取調にて雛形の通り書き上げ、有志の者出金を命ず・雛形	慶応2・8・27	1	91
214	来月朔日に窮民の人別壺組の内より抜き出し持寄を命ず	慶応2・8・27	1	92
215	火附盗賊改め廃止にて質屋帳面・加役方の引合鑑札取集・返上の段につき伺書・取集の通達	慶応2・8・23	1	92
216	花山院前右府薨去にて3日の鳴物停止を命ず	慶応2・8・28	1	93
217	公方様薨去にて町々心得方先例の申合について通達	慶応2・8・26	1	93
218	町中湯風呂・漁獵肴問屋など明朝より商売を命ず	慶応2・8・晦	1	94
219	公方様薨去にて先格の通り両番所へ名主共の罷出を命ず	慶応2・9・朔	1	95
220	尊骸品川より浜御庭へ上陸後、西丸の着館の通達	慶応2・9・6	1	95
221	町火消人足朱引境に相詰め居、役人指図にて消防を命ず	慶応2・9・3	1	95
222	去る3日紛失の太刀、8月29日以来紛失の脇差の取調を命ず	慶応2・9・12	1	96
223	鳴物は9月20日より差免にて町中火の用心を命ず	慶応2・9・12	1	97
224	坂下門より増上寺まで出棺の道筋の通達	慶応2・9・15	1	97
225	貧窮者御救にて小屋取建の取り計らいを命ず	慶応2・9・18	1	97
226	鳴物の義、20日より御免の通達	慶応2・9・18	1	98

2 慶応2年9月「御触帳」

番号	件名	年月日	点	頁
1	往還広場などへ貧窮人屯集につき御救小屋取建・寺院焚出・貧民教諭の通達	慶応2・9・20	2	99

2	本所回向院など5寺にて握飯焚出につき極貧窮民調査を命ず（雛形とも）	慶応2・9・20	1	100
3	公方様（徳川家茂）棺増上寺入につき外出禁止ほかを命ず	慶応2・9・22	1	100
4	握飯紙の日々渡・差出を命ず	慶応2・9・21	1	100
5	渋谷長谷寺の焚出につき印鑑遣・窮民人数高届出願	慶応2・9・21	1	100
6	窮民御救小屋入願の雛形通達	慶応2・9・20	1	100
7	御救小屋出来につき町会所へ書面差出を命ず	慶応2・9・22	1	101
8	握飯焚出所混雑のため隔日罷出を命ず	慶応2・9・13 ^(ママ)	1	101
9	明後25日より増上寺法事につき火の用心ほかを命ず	慶応2・9・23	1	102
10	寺院5ヶ所の握飯焚出昨24日にて見合せの通達	慶応2・9・25	1	102
11	御救小屋出来につき小屋入希望者は町会所へ申立の通達	慶応2・9・24	1	102
12	9月16日以来紛失の刀・脇差の覚書	慶応2・9・22	1	102
13	先の屯集押借頭取・取鎮方宜敷者など風聞調査を命ず	慶応2・9・26	1	103
14	酒食ほか諸商売を行う百姓取調を命ず	慶応2・10・3	1	103
15	学科修業・商売の海外渡航志願者へ人相書提出の通達（別紙とも）	慶応2・10・5	1	104
16	麒麟丸ほか川船損分払下につき入札の通達	慶応2・10・4	1	104
17	放火者召捕の享保7年日本橋高札の通達	慶応2・10・5	1	104
18	両替屋以外の商人による銭売渡禁止を命ず	慶応2・10・6	1	105
19	先月騒立貧民へ諭方宜者・施物遣者の取調を命ず	慶応2・10・4	1	105
20	当年不作のため外国米買入許可の通達	慶応2・10・12	1	105
21	山本啓助へ隠密廻助・岡本三一郎へ増臨時廻当分助申付の通達	—	1	106
22	明後21日より評定所式日・南北町奉行所訴訟公事間の通達	慶応2・10・19	1	106
23	公方様（徳川家茂）法号昭徳院の申渡通達	慶応2・10・23	1	106
24	南町奉行有馬阿波守（則篤）免・駒井相模守（信興）任命の通達	慶応2・10・24	1	106
25	朝六つ時まで訴訟差出持参を命ず	慶応2・10・21	1	106
26	出羽守（水野忠誠・老中）死去につき晦日まで鳴物停止を命ず	慶応2・10・28	1	107

27	来月1～3日将軍代替御札のため火の用心ほかを命ず	慶応2・10・28	1	107
28	風烈の節の火の用心・水溜桶差置を命ず	慶応2・10・28	1	107
29	紛失の具足2領の覚書	慶応2・11・朔	1	107
30	明後8日より南町奉行所訴訟公事間の通達	慶応2・11・6	1	108
31	喜多村彦之丞病気のため町年寄御免の通達	慶応2・11・7	1	108
32	昨10日新革屋町辺より出火につき板材木などメ売禁止を命ず	慶応2・11・11	1	108
33	御救小屋入の日数50日限りの通達	慶応2・11・14	1	108
34	町年寄館市右衛門類焼につき今日より樽俊之助月番の通達	慶応2・11・10	1	109
35	歩兵・兵卒の無代酒食など取締を命ず	慶応2・11・21	1	109
36	火事沙汰繁々につき火の用心を命ず	慶応2・11・27	1	109
37	兵歩・歩卒乱妨のため歩兵組に巡邏を命ず	慶応2・11・28	1	109
38	将軍代替御札済につき鳴物遠慮無用の通達	慶応2・11・22	1	109
39	去月29日以来紛失の男小袖ほかの覚書	慶応2・11・25	1	110
40	江戸表火災につき材木など価格引上禁止を命ず	慶応2・12・2	1	110
41	去月1日紛失の小袖ほかの覚書	慶応2・12・6	1	110
42	南京米入札の通達	慶応2・12・18	1	111
43	和宮様静寛院宮と称する通達	慶応2・12・16	1	111
44	将軍代替献上物の入用差出の通達	慶応2・12・26	1	111
45	訴訟公事人遅刻注意の通達	慶応2・12・15	1	112
46	寺社名目の無尽世話人取調を命ず	慶応2・12・20	1	112
47	紙類高価のため半紙縦帳にて諸訴書付差出を命ず	慶応2・12・27	1	112
48	主上（孝明天皇）崩御につき松飭取払・普請鳴物停止を命ず	慶応3・1・4	2	113
49	南北隠密方より世上人気風聞尋につき返答書	慶応3・1・—	2	113
50	鳴物使用の怪談咄など早々差止を命ず	慶応3・1・18	1	114
51	馬具など外国製法伝習希望者取調を命ず	慶応3・1・25	1	114
52	通行中の外国人へ悪口・瓦礫打禁止を命ず	慶応3・2・4	1	114
53	本所中村屋敷を白井屋敷と改称の通達	慶応3・1・29	1	114
54	鳴物停止中の雨露凌の普請許可通達	慶応3・2・5	1	115

55	鳴物停止中のため初午神事延期の通達	慶応3・2・3	1	115
56	押込・抜刃の盗賊取押・打殺の再々通達	慶応3・2・7	1	115
57	諸職人による国名・官名の無断名乗禁止を命ず	慶応3・2・12	1	115
58	来15日より普請解禁の通達	慶応3・2・13	1	115
59	去月29日紛失の刀・脇差の覚書	慶応3・2・5	1	116
60	正月7日取落の短刀の覚書	慶応3・2・12	1	116
61	2月19日より鳴物渡世解禁の通達	慶応3・2・22	1	117
62	去12月以来紛失の女小袖ほかの覚書	慶応3・2・24	1	117
63	押込盗賊捕押につき町入用節約の通達	慶応3・2・一	1	118
64	紛敷無尽の世話人召捕を命ず	慶応3・2・20	1	118
65	男女混浴禁止を命ず	慶応3・2・20	1	119
66	新規砲兵并歩兵調所の小買物御用達志願者取調を命ず	慶応3・2・20	1	119
67	大里忠左衛門から高橋藤七郎へ訴届先変更の通達	慶応3・2・21	1	119
68	陰陽道は土御門家免許にて執行を命ず	慶応3・2・25	1	119
69	来28日より町奉行所訴訟公事聞の通達	慶応3・2・26	1	120
70	本所羅漢寺の相对勸化許可の通達	慶応3・2・20	1	120
71	屋敷改取扱御用を作事奉行へ移管の通達	慶応3・2・24	1	120
72	細川越中守（斉護・熊本藩主）下屋敷前橋普請につき往還差留の通達	慶応3・2・28	1	120
73	奉公人欠落防止のため組合人宿・素人宿など心得通達	慶応3・3・朔	1	120
74	3月朔日より町奉行所出頭時は名主羽織袴着用を命ず	慶応3・2・29	1	121
75	学問所仰高門日講の聴聞志願者罷越の通達	慶応3・3・朔	1	122
76	明2日より評定所式日の通達	慶応3・3・朔	1	122
77	公事訴訟人の出刻限等閑・遅参注意の通達	慶応3・3・3	1	122
78	去12月15日以来紛失の難波戦記写本ほかの覚書	慶応3・3・8	1	123
79	3月12日以来紛失の刀・脇差の覚書	慶応3・3・17	1	125
80	麒麟丸ほか川船損分の入札日変更の通達	慶応3・4・朔	1	126
81	検使見分などの出役同心ほかへ酒食差出禁止を命ず	慶応3・3・7	1	126
82	火元調書の持参先自身番屋の通達	慶応3・3・7	1	126
83	出火烧失間数など取調に組合名主立会を命ず	慶応3・3・14	1	127

84	百姓の武芸稽古・在方浪人留置禁止を命ず	慶応3・3・19	1	128
85	国喪による鳴物禁止解除の通達	慶応3・4・17	1	128
86	貸附会所の貸渡金への差加許可の通達	慶応3・4・21	1	128
87	町方持草苅場間数・草苅請負人名前など取調を命ず	慶応3・4・20 ^(ママ)	1	128
88	3月11日以来紛失の脇差2腰の覚書	慶応3・4・27	1	129
89	外国人の芝居見物・酒食差出許可の通達	慶応3・5・12	1	129
90	高力下総守(直三郎・撒兵頭)御堀土手草苅場の持場取調の通達(別紙とも)	慶応3・5・17	1	129
91	関東村々の御拳場・御鷹捉飼場当分御用なしの通達	慶応3・4・一	1	130
92	元神奈川奉行支配組頭勤方菅沼鋳輔の家作入札の通達	慶応3・5・7	1	130
93	強談者・抜刀立騒者取押につき褒美の通達	慶応3・4・23	2	130
94	見張屯所取建につき地主手当取調を命ず	慶応3・5・3	1	131
95	米価諸色高値にて難渋者に施差出の者へ褒美の通達	慶応3・4・24	1	132
96	芝居・料理茶屋など立入の外国人の国名・人数など取調を命ず	慶応3・6・18 ^(ママ)	1	133
97	去4日以来紛失の薬籠ほかの覚書	慶応3・6・8	1	134
98	12月7日より兵庫開港につき商売自由の通達	慶応3・6・7	1	134
99	陸軍伝習引移のため三兵江戸辺出行の通達	慶応3・6・9	1	135
100	安政二分判・天保二朱金通用停止・早々引替を命ず	慶応3・6・22	1	135
101	支配違の者との町屋敷譲渡の普請方届出仕法の通達	慶応3・6・18	1	135
102	外国惣奉行朝比奈甲斐守(昌広)町奉行兼帯の通達	慶応3・7・4	1	135
103	枿値段5年間8割増の通達	慶応3・7・5	1	136
104	7月6日以来左薬指切落者の取調を命ず	慶応3・7・6	1	136
105	市中にて花火打上差留を命ず	慶応3・7・11	1	136
106	外国人発砲許可につき礮打など不法所業禁止を命ず	慶応3・7・23	1	136
107	諸国産物運送差滞のため江戸・大坂に国産役所取建の通達	慶応3・7・25	1	136
108	外国人への不法所業者取捕を命ず	慶応3・7・晦	1	137
109	小便所取建につき差障有無取調を命ず	慶応3・7・27	1	137
110	去25日以来紛失の刀ほかの覚書	慶応3・8・6	1	137
111	関所通行男女同様の振合に变革の通達	慶応3・8・4	2	138

112	將軍上洛中の神事祭礼につき嚴重心得方通達	慶応3・7・28	1	139
113	沽券金高・地代銀の急速取調を命ず（別紙とも）	慶応3・8・7	1	139
114	金子恒三郎北人足改代り仰渡の通達	慶応3・8・5	1	140
115	町会所附請負地払下につき入札の通達	慶応3・8・7	1	140
116	来16日より増上寺法事につき火の用心を命ず	慶応3・8・11	1	140
117	陸軍所貯蔵の糒払下につき入札の通達	慶応3・8・ ^(ママ) 18	1	140
118	去26日ほか紛失の刀5腰の覚書	慶応3・8・25	1	140
119	海外渡航志願者へ印章渡につき手数料上納を命ず	慶応3・8・21	1	142
120	小石川養生所附上納地の請負希望者罷越の通達	慶応3・9・朔	1	142
121	植物御用地払下につき入札の通達	慶応3・9・6	1	142
122	神田明神祭礼に神輿のみ通行につき嚴重心得の通達	慶応3・9・7	1	143
123	親孝行により三田同朋町鉄五郎へ褒美の通達	慶応3・9・2	1	143
124	蒸気船脚船江戸大坂間就航につき往返希望者申込の通達	慶応3・9・13	1	144
125	ポルトガル他5ヶ国と追々条約締結の通達	慶応3・9・13	1	144
126	社頭修復助成のため小石川白山神主の相対配札差免の通達	慶応3・9・13	1	144
127	五街道宿人馬賃銭割増の通達	慶応3・9・15	1	145
128	来28日蒸気飛脚船品川沖出帆につき乗船・荷物積送希望者申出の通達	慶応3・9・14	1	145
129	御船附属品払下につき入札の通達	慶応3・9・27	1	145
130	場所稠密につき三階家造許可の通達	慶応3・10・2	1	146
131	井戸水汲取の世話奇特につき南横町正助誉置の通達	慶応3・9・20	1	146
132	上様（徳川慶喜）公方様と改称の通達	慶応3・10・6	1	147
133	9月26日以来紛失の刀ほかの覚書	慶応3・10・6	1	147
134	姉弟養育・母孝行により浅草花川戸町治右衛門へ褒美の通達	慶応3・9・25	1	148
135	組合銃隊頭御門12ヶ所勤番につき捨子取計方の通達	慶応3・10・4	1	148
136	歩卒印入細袖など着用により無代酒食取締の通達	慶応3・10・3	1	148
137	兵庫開港につき商売取引奨励の通達	慶応3・10・6	1	149
138	歩兵半大隊・撒兵二小隊に市中巡邏を命ず	慶応3・10・22	1	149

139	出火時の人足改方調所名主宅へ変更の通達	慶応3・10・12	1	149
140	御府内近郷にて鉄炮打の鳥獣禁止の通達	慶応3・10・17	1	149
141	御用金差出者へ渡す金札通用の通達	慶応3・10・26	1	150
142	盗賊取締のため屯所取建・町奉行所役人詰・歩兵隊勤務の通達	慶応3・10・晦	3	150
143	肥代・魚類取扱渡世者取調を命ず（別紙雛形とも）	慶応3・10・晦	2	151
144	杉浦武三郎外国奉行並・町奉行兼帯の通達	慶応3・11・5	1	152
145	地代・店賃取調を命ず（別紙雛形とも）	慶応3・11・4	1	153
146	人造硝石製造のため魚腸貯置場所取計方の通達	慶応3・11・17	1	155
147	濁酒渡世早々停止を命ず	慶応3・11・16	1	155
148	素人による芥請負禁止を命ず	慶応3・11・16	1	156
149	来年3月9日まで江戸開市延期の通達	慶応3・11・21	1	156
150	来年3月9日まで新潟開港延期の通達	慶応3・11・21	1	156
151	町兵取立・屯所取建につき入用仕法取調・申渡の通達	慶応3・11・27	2	156
152	町奉行所への欠込願禁止を命ず	慶応3・11・27	1	157
153	家守・書役・番人の給金など取調を命ず	慶応3・11・27	1	157
154	歩兵組の賄・小買物御用達請負志願者の取調を命ず	慶応3・11・27	1	158
155	松平大和守（直克・上野国前橋藩主）外桜田辺巡邏の通達	慶応3・11・27	1	158
156	片山鋼太郎ほか1名に町火消人足改を命ず	慶応3・11・26	1	159
157	上田政五郎ほか4名に臨時廻り当分助を命ず	慶応3・11・26	1	159
158	吉田敬蔵ほか5名に臨時廻り当分助を命ず	慶応3・11・22	1	160
159	拝借地の明地取調を命ず（別紙雛形とも）	慶応3・11・27	1	160
160	会所地の間数・坪数取調を命ず	慶応3・11・27	1	160
161	名主役料取調書の雛形	慶応3・11・—	1	160
162	河岸地絵図面差出を命ず（別紙雛形とも）	慶応3・11・27	1	160
163	強盗などの訴・届の差出方につき通達	慶応3・11・—	1	161
164	歩兵組の賄・小買物請負人取調など諸事通達	慶応3・11・28	2	161
165	蝦夷地唐土 ^(ママ) 島への出稼差免の通達	慶応3・11・29	1	162
166	江戸表外国人居留地の家作貸渡差免の通達	慶応3・11・29	1	162

167	来正月より脇往還・川場の人馬賃銭割増の通達	慶応3・11・29	1	162
168	大楽王院宮薨去につき普請・鳴物停止を命ず	慶応3・12・7	1	163
169	湯銭・髪結銭早々値下げを命ず	慶応3・12・8	1	163
170	市中警衛のため組廻同心の詰切屯所の通達	慶応3・12・11	2	163
171	月行事の夜中屯所詰切を命ず	慶応3・12・12	1	165
172	渡世違の者へ菜種など油絞種物売渡禁止を命ず	慶応3・12・10	1	165
173	関東在々にて飛道具による鳥類殺生禁止を命ず	慶応3・12・10	1	165
174	商人手間賃・人足賃など引下を命ず	慶応3・12・12	1	166
175	水溜桶の水汲入置・藁葺小屋取払を命ず	慶応3・12・12	1	166
176	兵隊屯所・改正懸・廻方へ強盗届出を命ず	慶応3・12・12	1	166
177	銃隊頭屯所へ月行事詰日割の通達	慶応3・12・16	1	166
178	夜盗など屯所へ早々届出を命ず	慶応3・12・18	1	167
179	日用品早々値段引下を命ず	慶応3・12・23	1	167
180	薩摩藩邸炮火動乱につき潜伏浮浪者取調を命ず	慶応3・12・25	1	168
181	市中取締方・人足詰方・火事具用意の心得通達	慶応3・12・26	2	168
182	町方住居の浪人など取調承知の請書	慶応3・12・25	1	169
183	強盗などの夜中届無用の通達	慶応3・12・26	1	169
184	藤堂和泉守（高猷・伊勢国津藩主）鉄4文銭御府内通用差許の通達	慶応3・12・22	1	169
185	夜中遠方より廻方へ強盗押込の届出無用の通達	慶応3・12・23	1	169
186	馬場先御門他15ヶ所当分メ切の通達	慶応3・12・24	1	169
187	金札通用方・引替方など取扱心得の通達	慶応3・12・24	1	170
188	徳川慶喜将軍職辞退につき上様と呼称替の通達	慶応3・12・26	1	171
189	市中暴行・野州徒党の同志召捕を命ず	慶応3・12・27	1	171
190	酒井左衛門尉（忠篤・庄内藩主）家来へ脱走賊徒召捕を命ず	慶応3・12・27	1	171
191	井上信濃守（清直・町奉行）死去・小出大和守（秀実）町奉行就任の通達	慶応3・12・28	1	171
192	市中取締のため御府内出口関門取建の通達（別紙とも）	慶応3・12・30	1	172
193	明4日より北町奉行所訴訟公事聞の通達	慶応4・正・3	1	172

194	去12月25日兵火にて芝辺通懸の怪我人取調を命ず	慶応4・正・3	1	172
195	来7日大和守（小出秀実・町奉行）へ御目見の通達	慶応4・正・4	1	172
196	家数・人数・地代・町入用の取調を命ず	慶応4・正・5	1	172
197	昨5日駒井相模守（信興）陸軍奉行並仰付の通達	慶応4・正・6	1	173
198	町火消人足朱引境越無用の通達	慶応4・正・7	1	173
199	人別取調差出を命ず	慶応4・正・10	1	174
200	黒川近江守（盛泰）町奉行仰付の通達	慶応4・正・10	1	174
201	関東取締出役による江戸の浮浪人召捕の通達	慶応4・正・11	1	174
202	町火消の頭取ほか北町奉行所出頭を命ず	慶応4・正・13	1	174
203	町兵取立につき諸事通達	慶応4・正・13	1	174
204	急御用にて合薬・雷粉 ^(ママ) ・鉛持参を命ず	慶応4・正・13	1	175
205	町火消人数3分1書上のため頭取ほか呼出の通達	慶応4・正・13	1	175
206	上様（徳川慶喜）江戸還御・消防嚴重・潜伏者取調の通達	慶応4・正・12	2	175
207	去12月以来の松平修理太夫 ^(ママ) （島津忠義・薩摩藩主）奸臣の罪状通達	慶応4・正・12	1	176
208	町兵取立につき強壯者人選を命ず	慶応4・正・13	1	176
209	御府内取締のため船宿・町役人などへ取計方の通達	慶応4・正・13	1	176

3 慶応4年「御触帳」

*印は『法令全書』に記載があるものを示す

番号	件名	年月日	点	頁
1	上様（徳川慶喜）江戸還御の通知	慶応4・正・12	1	178
2	薩摩藩罪状書上	慶応4・正・12	1	178
3	町兵取立につき、強壯の者の人選を命ず	慶応4・正・13	1	178
4	江戸入津諸船乗組員改めを命ず	慶応4・正・13	1	179
5	無人別者の止宿禁止と奉公人の身元改めを命ず	慶応4・正・13	1	179
6	木更津河岸着船の旅人改め強化を命ず	—	1	179
7	茶船による行徳往還の旅人改めの強化を命ず	—	1	179
8	肴市屋町々に他者の止宿を禁ず	—	1	180

9	町内に願人・乞食の居住、弟子と唱しての止宿を禁ず	慶応4・正・13	1	180
10	町火消人足三分の一の人数を書上を命ず	慶応4・正・13	1	180
11	火事頻発の時節につき、水溜桶に水汲入と蒿葺小屋取 払を命ず	慶応4・正・12	1	180
12	侍鉢潜伏者の探索を命ず	慶応4・正・14	1	181
13	上様（徳川慶喜）の西丸着御の通知	慶応4・正・15	1	181
14	町兵取立につき、名主附添に関する伺	慶応4・正・一	1	181
15	町兵取立の趣旨徹底のため、稽古参加の日延に関する 願書	慶応4・正・16	1	181
16	町兵取立趣旨説明の寄合通知	慶応4・正・18	1	182
17	慶応3年12月28日以来の紛失品の覚	慶応4・正・25	1	182
18	町火消人足人別調査を命ず	慶応4・正・27	1	183
19	潜伏の侍鉢の者探索につき、人別改めの許状なき者の 記載を命ず	慶応4・正・22	1	184
20	御廻り方諸入用分担銭の取集めを命ず	慶応4・正・26	1	184
21	恭順の意を表すため、旗本・御家人に月代を剃ることを 禁ず	慶応4・2・一	1	186
22	恭順の意を表すための鳴物停止は市中には適用せず	慶応4・2・2	1	186
23	公議所を取建てる	慶応4・正・一	1	186
24	銃・胴乱の払下げ通知	慶応4・2・4	1	187
25	慶喜上野引移りにつき、火の用心を命ず	慶応4・2・11	1	187
26	京・大坂町奉行与力出府の際、御廓最寄旅宿取扱方の 調査を命ず	慶応4・2・5	1	187
27	高橋藤七郎定廻り筆頭就任につき、是迄加藤保次郎宛 の諸訴届は藤七郎方へ	慶応4・正・28	1	187
28	慶喜の追討使差向猶予願書	慶応4・2・一	2	187
29	慶喜謹慎中江戸城を田安慶頼・松平確堂の管理下に置 く	慶応4・2・14	1	188
30	町奉行小出大和守御役御免	慶応4・2・16	1	188
31	鉄炮洲町奉行所普請出来につき、開市場関係の諸願等 は該所で扱う	慶応4・2・16	1	189
32	入費増大につき半高借上等厳しい状況下一層の省略を 命じ、暇乞も許す	慶応4・2・8	1	189

33	市中町人のうち他向支配となった折の支障の有無と、その例の調査を命ず	慶応4・2・15	1	189
34	慶喜上野謹慎に付、諸事不取締なきよう命ず	慶応4・2・15	1	189
35	石川河内守町奉行就任	慶応4・2・17	1	190
36	人別調取扱に関する申合	慶応4・2・―	1	190
37	火消店人足改方御尋につき打合せ通知（別紙共）	慶応4・2・―	1	190
38	町々の消防具の修理・充足を命ず	慶応4・2・19	1	191
39	歩兵の乱妨頻発につき、付属兵士の巡邏を命ず	慶応4・2・22	1	192
40	2月24日より小出大和守掛りの訴訟公事を北町奉行所で聞く	慶応4・2・22	1	192
41	黒川近江守不快につき、2月22日より石川河内守を助月番とする	慶応4・2・22	1	192
42	歩兵共乱妨の所業取締のため、町々屯所に陸軍方役々を勤番させる	慶応4・2・22	1	192
43	店人足の実績等を人足改方届出を命ず	慶応4・2・20	1	193
44	天保度人足改正後、紀州より免許状持参の出稼者の調査を命ず	慶応4・2・20	1	193
45	金銀貸借利足、当分の内御府内に限り相対決めを許す	慶応4・2・23	1	193
46	武家屋敷を町人に貸与・譲渡を許す	慶応4・2・―	1	194
47	百姓家作向、屋根替、立木伐取等は以後馬喰町代官所への届け出を命ず	慶応4・2・23	1	194
48	御府内川筋通行の船々に極印・鑑札を手形と引替えに渡す、年貢銭は二倍増とする	慶応4・2・25	1	194
49	舶来品渡世の者の名前、本日中に町年寄樽家へ差出を命ず	慶応4・2・26	1	194
50	物価高直に付、困窮者の取締りを可能な限り勘弁する	慶応4・2・27	1	195
51	町奉行所附兵隊巡邏の節、自身番屋で休息する	慶応4・2・27	1	195
52	当今の形勢により物価の適正化、諸届け、手続等の簡略化を命ず	慶応4・3・朔日	1	195
53	遊歩の歩兵乱妨の所業は、役人屯所へ届出る	慶応4・3・朔日	1	196
54	慶喜謹慎中、西丸は田安慶頼、静寛院宮・天璋院守衛は松平確堂が行う	慶応4・3・朔日	1	197
55	各屯所下掃除の請負は今後入札とする	慶応4・3・朔日	1	197

56	舶来物商人の商社規則手法書を一組ごとに作成・提出を命ず	慶応4・3・朔日	1	197
57	京都より軍勢差向けにつき、官軍への軽挙暴動を禁ず	慶応4・2・一	1	197
58	官軍に対しひたすら恭順の行動を取ることを命ずる徳川慶喜の指示	慶応4・3・2	1	198
59	勅使下向につき、心得違いなきことを命ず	慶応4・3・一	1	198
60	勅使下向につき火の元を用心し、非礼なきことを命ず	慶応4・3・4	1	198
61	江戸入込みの官軍に対し不敬な行為なきことを命ず	慶応4・3・4	1	199
62	勅使下向につき町々の迎方、取繕方を指示	慶応4・3・5	1	199
63	町奉行黒川近江守辞任、松浦越中守就任	慶応4・3・6	1	200
64	勅使江戸到着当日の町々心得	慶応4・3・4	1	200
65	自身番屋に張り出す触書の文言を読みやすくする	慶応4・3・5	1	201
66	市中取締りのため牛込牡丹屋敷に誠忠隊屯所を設ける	慶応4・3・6	1	201
67	忠孝寄特の者のほか、主殺し・親殺しや異変等は隠密廻り筆頭に届出る	慶応4・3・7	1	202
68	町人拝領屋敷・預り地等書上の提出を命ず	慶応4・3・8	1	202
69	勅使等下向の際、取締り・取鎮めの心得の徹底を町奉行に命ず	慶応4・3・7	1	203
70	遊歩の歩兵取締役等の名簿と該名簿の自身番屋内張出しを命ず	慶応4・3・10	1	203
71	押込盗賊等の事変は支配同役より北御番所へ届出る	慶応4・3・11	1	204
72	勅使下向につき、不敬なきことと、火の用心を命ず	慶応4・3・11	1	204
73	勅使下向につき、御同勢の御用筋差支えなく取扱う	慶応4・3・14	1	205
74	大総督府の沙汰なき行動を慎む	慶応4・3・一	1	205
75	近国村民騒動鎮撫派遣兵士の脱走者で官軍に背く者の追捕を命ず	慶応4・3・24	1	205
76	江戸総攻撃見合せを西郷隆盛回答につき、諸事静穏を命ず	慶応4・3・15	1	205
77	官軍甲州道中より尾張屋敷に到着につき、動揺せざることを命ず	慶応4・3・18	1	205
78	尾張屋敷官軍屯所へ夜具500人前の調達を命ず	慶応4・3・19	1	206
79	隊号を以て米金を要求する者あれば番所へ訴出ることを命ず	慶応4・3・19	1	206

80	尾張屋敷の官軍本日の打炮発あり	慶応4・3・24	1	206
81	米田権次郎ら3人市中取締増懸り任命	慶応4・3・24	1	206
82	佐久間鑄五郎町奉行就任	慶応4・3・25	1	207
83	3月7日以来紛失の品書上	慶応4・3・26	1	207
84	三井伴次郎隠密廻り筆頭に転役	慶応4・3・22	1	208
85	官軍斥候御府内止宿につき、出火の際、猥りに近辺出行を禁ず	慶応4・3・25	1	208
86	町人共自己の願い筋を、入込みの官軍に差出すことを禁ず	慶応4・3・26	1	208
87	100文銭と文久・真鍮銭の相場二様実施要請の三組番組両替屋の歎願一件	慶応4・3・—	2	209
88	町火消人足の押借を禁ず	慶応4・3・28	1	210
89	柳原前光副総督通行につき心得	慶応4・4・朔	1	210
90	勅使近日御府内御入につき心得	慶応4・4・2	3	211
91	慶喜に対し寛大な処置を命ずる勅諭発令につき一層相慎むよう	慶応4・4・3	1	211
92	4月4日柳原前光等御入城につき、不敬な儀を禁ず(道筋書共)	慶応4・4・3	1	212
93	3月朔日以来紛失品覚	慶応4・3・27以後	1	212
94	貧民に御救米下賜につき、取調方依頼(要項・雛型共)	慶応4・4・2	4	212
95	徳川慶喜来る4月10日水戸へ発途につき、慎方を命ず	慶応4・4・8	1	215
96	徳川慶喜伏罪謹慎により、百姓・町人は天子の御民として平日懸念なく渡世するよう命ず*	慶応4・4・—	1	215
97	東海道鎮撫総督府の施政に関する諭達*	慶応4・4・10	1	216
98	勅使等西丸入城につき心得違いなきよう命ず	慶応4・4・12	1	216
99	官軍宿陣諸入用、町々負担方法と額を示す	慶応4・4・13	1	216
100	北陸道総督本陣等の入用負担を町方に命ず	慶応4・4・11	1	217
101	村松町名主源六ら出精により格に応じ、苗字あるいは帯刀を許す	慶応4・4・10	1	217
102	陸軍隊・撤兵隊等の実態調査と官軍宿所への町方出銀の調達を命じ、別手方屯所設置を通知	慶応4・4・14	1	218
103	七分積金の3ヶ月分徴収を命ず	慶応4・4・15	1	218

104	不良会津百文銭の扱い方	慶応 4・4・10	1	219
105	市中取締りのため狙撃隊が見廻る、別手組のうち300人程を市中取鎮方とする	慶応 4・4・13	1	219
106	大沢藤九郎定廻り格臨時廻り就任	慶応 4・4・8	1	220
107	竹橋御門等の城門の管轄と往来の可否を通知	慶応 4・4・14	1	220
108	清水・竹橋・半蔵・田安御門の通行を制限	慶応 4・4・15	1	221
109	濁酒造株鑑札取得申請を許す	慶応 4・4・20	1	221
110	徳川慶喜水戸到着の通知	慶応 4・4・19	1	221
111	大総督宮西丸移陣につき、通行中物静かにし、不敬の義を禁ず	慶応 4・4・20	1	222
112	伝馬大御用につき、大町10人中町5人小町2人づつ人足差出を命ず	慶応 4・4・18	1	222
113	先鋒参謀の演説の趣意貫徹を命ず	慶応 4・4・25	1	223
114	4箇所別手組屯所設置につき、巡邏の節自身番屋にて休息、支障なきを命ず	慶応 4・4・18	2	223
115	隠密廻り三井伴次郎病気につき、諸届類は山本啓助方へ遣わすよう命ず	慶応 4・4・20	1	224
116	村上俊五郎・石塚周造を取締組頭取とし、市中巡邏を命ず	慶応 4・4・23	1	224
117	江戸市中取締りを引続き町奉行に委任する	慶応 4・閏4・4	1	224
118	高橋吉右衛門・秋山久蔵に替わり藤田郎市右衛門ほか2名に諸届けを提出するよう命ず	慶応 4・4・26	1	225
119	典薬寮の称号に関し、紛敷者徘徊につき取締る	慶応 4・4・24	1	225
120	市中改人別調方延引を申渡す	慶応 4・4・25	1	225
121	地割役樽三右衛門を町年寄並勤方に任ず	慶応 4・4・23	1	226
122	御門々取締り厳重につき各町名主に5枚づつ通行鑑札を下渡す	慶応 4・4・29	2	226
123	伝馬大御用続行につき人足負担の大・中・小町の調査を督促	慶応 4・閏4・7	1	226
124	所々官軍宿陣の買物の懸高調査を命ず	慶応 4・閏4・7	1	227
125	当今の情勢により犯罪の検使派遣の条件を厳しくする	慶応 4・閏4・9	1	227
126	定廻り岡田源兵衛を隠密廻りとする	慶応 4・4・29	1	228
127	閏4月の月番を喜多村又四郎とする	慶応 4・閏4・朔	1	228

128	閏4月13日以来（紛失物覚）	慶応4・閏4・16	1	228
129	第4聯隊市中巡邏の際、使用する小休所を四谷辺等に取設する	慶応4・閏4・17	1	228
130	諸隊号を唱え押借・強談等の有無調査書の提出を命ず	慶応4・閏4・17	1	229
131	龍の口作事方定小屋・畳小屋を酒井左衛門尉屋敷に移す	慶応4・閏4・13	1	229
132	江戸産業衰微につき、取続き仕法の検討を命ず*	慶応4・閏4・13	1	229
133	孝子・節婦など寄特者と奸商等召捕りを望む者の調査を命ず	慶応4・閏4・15	1	230
134	東叡山外構の矢来補理費の負担を各町に命ず	慶応4・閏4・18	3	230
135	貸金出入呼出しの際、遅刻なきよう命ず	慶応4・閏4・25	1	231
136	呉服橋内牧野駿河守屋敷に蚕種紙・生糸役所取建ての通知	慶応4・閏4・29	1	231
137	徳川亀之助の徳川宗家相続を通知*	慶応4・閏4・一	2	231
138	3月28日以来紛失の品覚	慶応4・5・朔	1	232
139	関口良介に市中取締役頭を命ず	慶応4・閏4・26	1	232
140	坂倉九十郎を定廻りとする	慶応4・閏4・23	1	232
141	桑原彦吉・相場誠一郎に町火消人足改を命ず	慶応4・閏4・17	1	233
142	深川越中島調練場において官軍方大小炮発投操練通知	慶応4・5・3	1	233
143	市中巡邏は徳川方に替り官軍方が行ふ	慶応4・5・3	1	233
144	御救人別書上の節の不在者の調査を命ず	慶応4・5・4	1	233
145	神田権太夫・田中文左衛門を隠密廻り当分助とする	慶応4・閏4・23	1	233
146	古金、通用金・銀・銅銭等の定価格を示す*	慶応4・閏4・一	1	234
147	笹本銀次郎を人足改とする	慶応4・閏4・25	1	236
148	豊嶋町三丁目五人組持店喜三郎寄特につき褒美として鳥目10貫文下賜	慶応4・閏4・25	1	236
149	山本兵太夫を定廻り格臨時廻りとする	慶応4・閏4・26	1	237
150	5月7日以来紛失の品覚	慶応4・5・11	1	237
151	5月15日より3日間海浜出役を禁ず	慶応4・5・14	1	237
152	官軍に抗する旧幕脱走者の誅伐趣旨*	慶応4・5・一	1	237
153	上野山内屯集者の摘発を命ず*	慶応4・5・18	1	238

154	諸願・訴文は町奉行所ではなく月番の町年寄方へ申出る	慶応4・5・17	1	238
155	押借・強談に及ぶ者の名前は浅草鳥越の市中取締役へ届けるように、以後同様のことは届出の必要なしの急内達	慶応4・5・21	1	238
156	江戸鎮台設置につき、寺社奉行所を寺社裁判所、町奉行所を市政裁判所、勘定奉行所を民政裁判所とする*	慶応4・5・22	1	238
157	徳川亀之助を駿河府中70万石の城主、田安・一橋家を藩屏に列す*	慶応4・5・24	1	239
158	町奉行所を市政裁判所に改変につき通達	慶応4・5・22	1	239
159	上野打払以来御霊屋等の道具類紛失につき、密々調査を命ず	慶応4・5・20	1	241
160	町奉行所を市政裁判所と唱替につき、役々名称替のほかは諸事従前通り	慶応4・5・28	2	241
161	市中貧民難渋につき、其日稼の者御救いにつき、人別調査を命ず	慶応4・5・一	1	242
162	人別書上の書式指示	慶応4・6・2	1	242
163	浅草正覚寺屯集の元龍虎隊呉服橋御門内へ引移りにつき、出銀免除の口達	慶応4・5・28	1	242
164	江戸町人の幕府への用金を年賦にて返還する（手形雛型共）	慶応4・6・4	1	242
165	町入用・七分積金等の出費減となる方策を指示	慶応4・6・4	1	243
166	徳川宗家存続決定につき、町人共の謹慎のための閉店を免ず	慶応4・6・4	1	244
167	町人地中の徳川家臣等との由緒による受領地・借地の調査を命ず	慶応4・6・4	1	244
168	町火消人足の出火場出動は享保度の通りとする	慶応4・6・朔	1	245
169	市中・武家地中の宮門跡方貸付地の調査を命ず	慶応4・6・4	1	245
170	諸届類は南北三廻り筆頭に差出すことを命ず	慶応4・6・朔	1	245
171	山本啓助病気につき、当分岡田源兵衛方へ差越すよう	慶応4・6・朔	1	246
172	武家屋敷住居の町人の調査を命ず	慶応4・6・6	1	246
173	一時休業の質屋に対し金高入質以外の質入再開を命ず	慶応4・5・27	1	246
174	捨物・拾物等の訴出で御門通行の際は、事前に裁判所に届け、通行印鑑の受取方を命ず	慶応4・6・2	1	246
175	官許なき新聞の発行を禁ず	慶応4・6・5	1	246

176	宮門跡・御三家・寺院等の名目の貸付の由緒・金高の調査を命ず	慶応4・6・5	1	247
177	毎月末尾1・6の日および22・29日を南北裁判所の休日とする	慶応4・6・18	1	247
178	鎮台・官軍などを騙り、商売の妨げをする中間鉢の者の捕押え方を命ず*	慶応4・6・15	1	247
179	江戸鎮台の主要職名簿*	慶応4・6・7	1	247
180	神田・玉川上水掛り、屋敷改め、新地掛り役を市政裁判所に移管	慶応4・6・11	1	248
181	町火消人足に、出火の際、速やかに出火場に駆付けることを命ず	慶応4・6・14	1	248
182	御仕法替まで拝領地等の上り高引当、支配役料引当貸付の願出を禁ず	慶応4・6・10	1	249
183	市中にて石炭を取扱う者の調査を命ず	慶応4・6・14	1	249
184	琵琶湖通船荷物運賃は今後相対とする*	慶応4・6・18	1	249
185	江戸中高札場の破損の有無等調査を命ず	慶応4・6・18	1	249
186	盗賊・押込、辻強盗等乱妨人を近隣協力で捕押え方を命ず	慶応4・6・21	1	250
187	新井抵次郎を定廻りとする	慶応4・6・13	1	250
188	強盗を打果した惣兵衛・寅吉に褒美として鳥目10貫文差遣す	—	1	250
189	孝養の名主藤七に褒美として銀3枚下賜	慶応4・6・14	1	250
190	上野戦争にて類焼した町々の其日稼の者に267両余を施した専右衛門に褒美として銀15枚下賜	慶応4・6・15	1	251
191	『市政日誌』を1町3部づつの購入を命ず	慶応4・6・26	1	251
192	殺人・強盗横行につき嚴重取締りを命ず*	慶応4・6・—	1	251
193	米国士官兩人築地ホテル到着、市中出歩の際など不都合なきよう	慶応4・6・28	1	252
194	官軍・諸隊号と唱する者による捕者、掠奪、押借等の被害調査を命ず	慶応4・7・2	1	252
195	江戸問屋并諸国荷主に対し不実の取計いなきよう命ず	慶応4・7・5	1	252
196	石炭取締局取建につき、石炭売買には同局の免許を要す	慶応4・7・5	1	253
197	町地内の徳川家よりの受領地・借地・預地等の上地を命ず	慶応4・7・6	2	253

198	町地面等調査につき紛敷取計いを禁ず	慶応4・7・6	2	254
199	町奉行所時代の出訴の吟味下げを命ず	慶応4・7・8	1	254
200	町年寄・地割役を鎮台府附とする	慶応4・5・27	1	255
201	大久保与七郎兵隊を市政裁判所附とする	慶応4・7・10	1	255
202	町方御預け金返納請書雛形	慶応4・7・10	1	255
203	町会所御救対象者調査徹底の請書	慶応4・7・11	1	256
204	諸港から外国船に乗組む際には該府県の請書を要す*	慶応4・7・10	1	256
205	日本人の朝鮮漂着、朝鮮人の日本漂着の際の取扱い* (慶応4・6・19)		1	256
206	持逃欠落人和田千代吉人相書	慶応4・6・19以降	1	256
207	蒸気船にて脱走の徒あるにより当分の内、石炭買受・運送には願出を要す	慶応4・7・11	1	257
208	銭相場引上げにつき、諸色値段の引下げを命じ、当分の内、金1両につき銭8〜10貫文を相場とする	慶応4・7・12	1	257
209	『市政日誌』の代金取集めと三軒家詰所への納入を命ず	慶応4・7・12	1	258
210	関東取締に転じた江口力之助らへの助金に関する内達	慶応4・7・13	1	258
211	南市政裁判所三廻り名簿	慶応4・7・13	1	258
212	北市政裁判所三廻り名簿、諸届は三廻宛に、外廻りは一同免役	慶応4・7・12	1	259
213	神奈川裁判所公事出入吟味の際の呼出差紙雛形	慶応4・7・17	1	259
214	町方貸付沙汰次第返却を命ず	慶応4・7・17	1	260
215	御用達商人、由緒町人の受領地・借地の鎮台府附か否かの調査を命ず	慶応4・7・17	1	260
216	6月29日供先持逃紛失の品覚	慶応4・7・18	1	260
217	民情閉塞を防ぐため目安箱を設置	慶応4・7・18	1	261
218	御用達町人、由緒町人の受領屋敷の調査を命ず	慶応4・7・17	1	261
219	公事訴訟人の出刻時刻厳守を命ず	慶応4・7・18	1	261
220	強盗・乱妨狼藉・強談等に対するため裁判所附兵隊を取建てる	慶応4・7・18	1	262
221	湯銭を40文、髪結銭を100文に引下げを命ず	慶応4・7・20	1	262
222	配符の宛先を自身番屋から名主に改める	慶応4・7・19	1	262
223	市中御救いのため町会所囲穀を摺立て、両に1斗9升替で払下げる	慶応4・7・25	1	263

224	隠売女同様の稼ぎを防ぐため女芸者 1 人に 1 枚づつ鑑札を渡す	慶応 4・7・19	1	263
225	市民幼年教育のため算筆稽古場取立てにつき協力要請	慶応 4・7・19	1	264
226	遊民鑑札御渡につき女芸者・酌取女等の調査を命ず	慶応 4・7・24	1	264
227	武家地に商人差置を禁ず*	慶応 4・7・24	1	265
228	鉄炮等の売買・質入・預りには株式取得を要す	慶応 4・7・25	1	266
229	鉄炮製造者にも株式取得を要す	慶応 4・7・25	1	266
230	蚕種并生糸改所を海賊橋際松平和泉守屋敷に移す*	慶応 4・7・28	1	266

江戸東京博物館
史料叢書 7

四谷塩町一丁目 幕末御触留

発行日 平成十六年三月三十一日

編集 東京都江戸東京博物館
都市歴史研究室

発行 東京都

(財)東京都歴史文化財団
東京都江戸東京博物館
〒130-0015

東京都墨田区横網一丁目四番一号

TEL 〇三―三六二六―九九一八 (研究室)

FAX 〇三―三六二六―八〇〇一

印刷 合同印刷株式会社

ISBN 4-924965-46-4C-0021